

MSDの“テレワーク・デイズ” および 7月“ワークスタイル・イノベーション月間”

2018年10月12日

MSD株式会社 人事部門 萩原 麻文美



MSD製薬

INVENTING FOR LIFE

世界中の人々への貢献をめざして 世界140カ国以上で革新的な医薬品・ワクチンを提供

ミッション

世界中の人々の生命を救い、生活を改善する
革新的な製品とサービスを発見し、開発し、提供する

基本理念

「**医薬品は人々のためである**であり、
利益のためであるのではないことを決して忘れてはならない。
利益は結果として得られるものである。

…どのようにすれば全ての人々に最良の医薬品を届けることができるだろうか。その答えを見出し、最高の成果を全人類にもたらすまでは休むことはできない。」



ジョージ・W・メルク
(創業者の息子、第2代社長)



MSD製薬

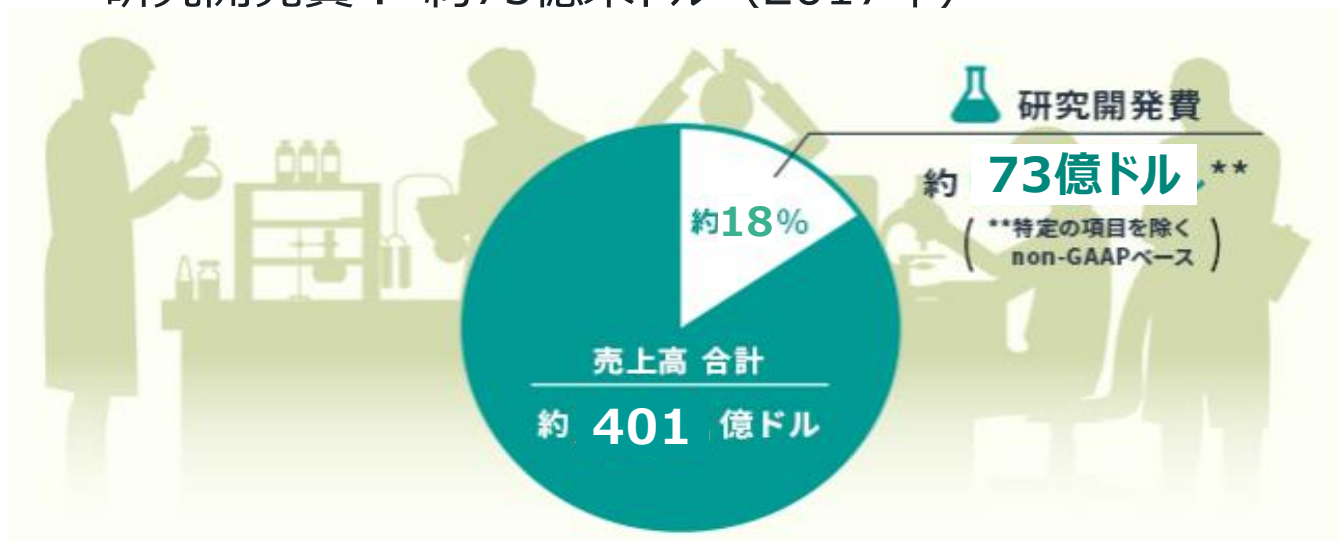
INVENTING FOR LIFE

グローバル事業概要

- 会社名： Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.
所在地： ニュージャージー州ケニルワース
事業内容： 医療用医薬品、ワクチン、バイオ医薬品および
アニマル・ヘルス製品の開発・製造・販売
従業員数： 約69,000人
売上： 約401億米ドル（2017年）
研究開発費： 約73億米ドル（2017年）



会長兼最高経営責任者（CEO）
ケネス・C・フレイジャー



国内事業概要

会社名： MSD株式会社
本社： 東京都千代田区九段北
事業所： 大阪オフィス、妻沼工場、その他全国主要都市に営業拠点を設置
事業内容： 医療用医薬品、医療機器の開発・輸入・製造・販売
従業員数： 約3,500人
売上： 約3,540億円（2017年）

重点領域：

がん

プライマリーケア

急性期・病院

ワクチン



代表取締役社長
ヤニー・ウェストハイゼン

MSDにおける働き方改革

MSDでは、 なぜ“柔軟な働き方”を推進するのか？

1. 自律的な組織と人材をつくるため
“自分で決める、自分の意思を表明する、周囲を説得する
チームのルールを自分たちで決める”
2. イノベーションを創出し、生産性を上げるため
“働き方改革はワクワクするもの、新しい世界を開くもの
過去の習慣や固定観念へのあくなき挑戦”

全社員対象
日数制限なし
事由不問の
在宅勤務

裁量労働制

ちょっとだけ仕事ができる
育休制度

MSDの**“柔軟な”**働き方

副業推奨

事由不問の長期休暇
(ディスカバリー休暇)

営業員の
モバイルワーク

ライフステージに合わせて
勤務地を選べる
地域限定勤務の子会社
“日本MSD合同会社”



MSD製薬

INVENTING FOR LIFE

約1000人の内勤者
自分の好きな日に
在宅勤務

約2500人の営業員
毎日、モバイルワーク



MSD製薬

INVENTING FOR LIFE

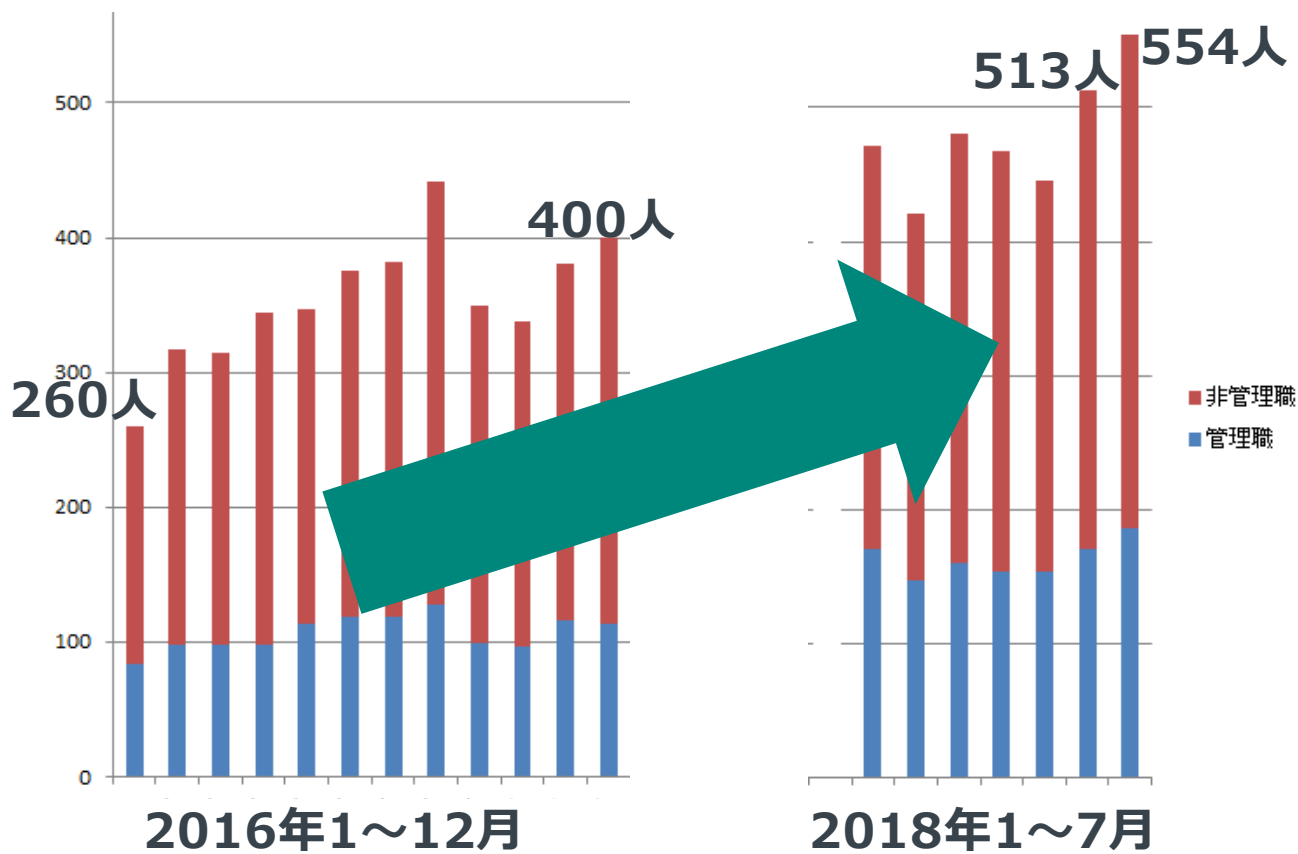
MSDの在宅勤務制度の概要

対象社員： **全社員**（営業員、工場勤務者も含む）

申請事由： **理由は一切不問**

利用回数： **日数制限なし**（週5日全部在宅も可能）

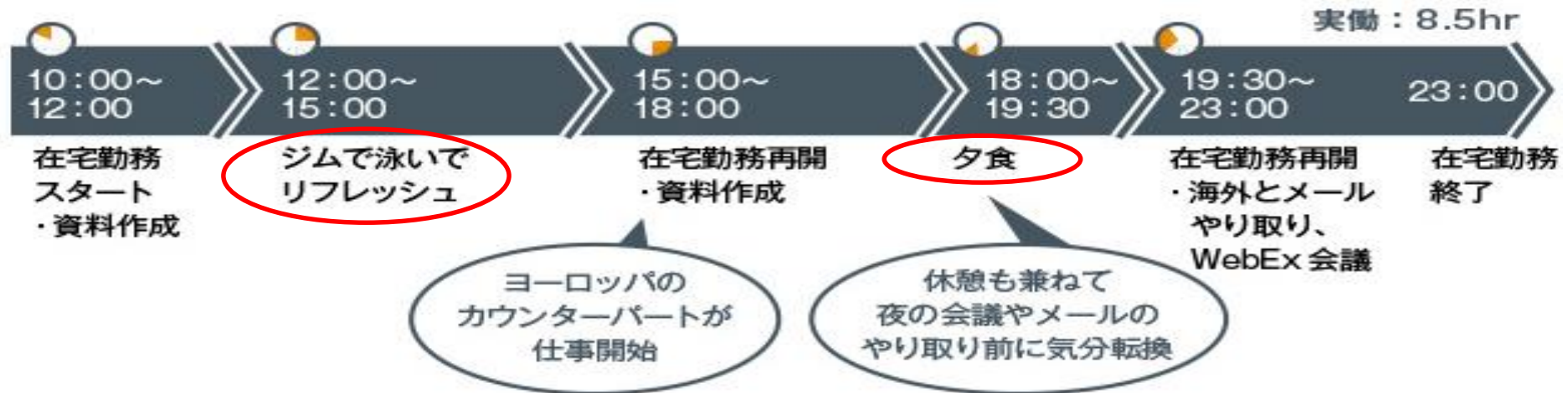
利用条件： ①オフィス勤務時と同等のパフォーマンスをあげられること ②事前に上司の承認を取得すること



- 毎月内勤社員の**半数**が利用
- 1人当たり平均利用日数 = **2.5日/月**
- 「ヘビーユーザー」から「たまに利用」まで
- 利用者の **1/3** は**管理職**

MSDの在宅勤務制度活用例

例その1：海外の仕事相手の時間帯に合わせる代わりに昼間はジムでリフレッシュ



例その2：在宅勤務のニーズはないが、せっかくなので利用してみた・・・





テレワーク・デイズ

および

7月ワークスタイル・イノベーション月間

テレワーク・デイズの参加人数

23日	24日	25日	26日	27日	合計
3,305 人	3,395 人	3,383 人	3,379 人	3,292 人	16,754 人

2018年7月

全社でワークスタイル変革に集中的に取り組む月に !!

July 2018						
S	M	T	W	T	F	S
		3	4	5	6	7
		10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

バーチャル
人事部門
全体会議

バーチャル
経営会議

7月19日 バーチャル経営会議



ワークスタイル・イノベーション Case 2

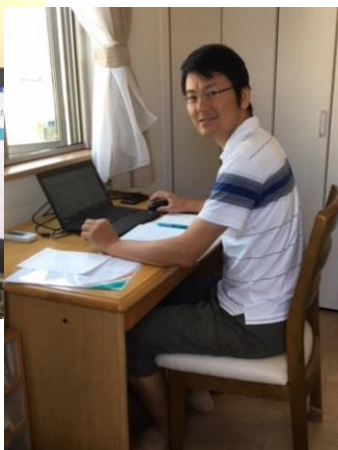
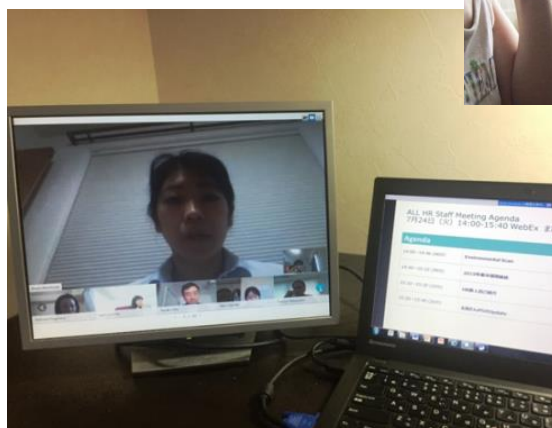
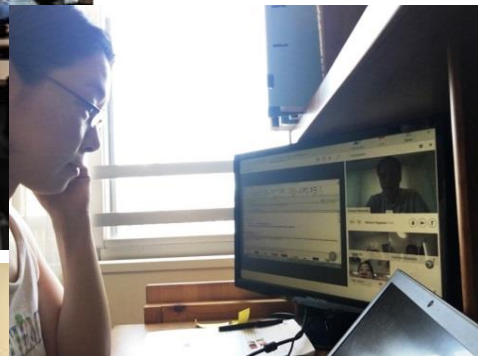
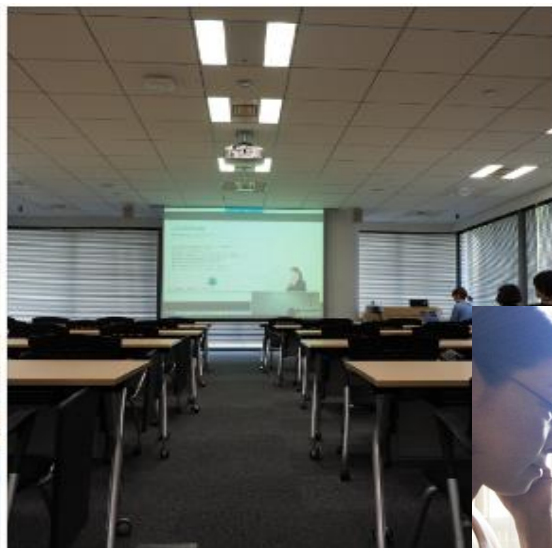
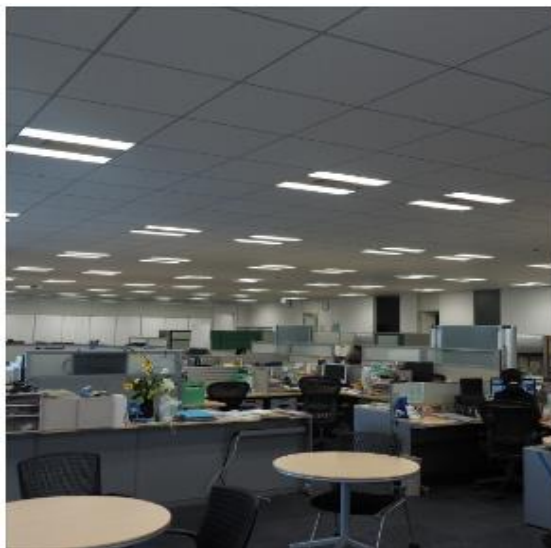
自宅や出張先
など、さまざま
な場所から
参加したよ!



- 国内外の出張先や自宅から社長以下、全経営陣が会議に参加。ディスカッションやワークショップを実施
- 重要な会議でもバーチャルでできることを経営陣が社員に示し、社員の心に火をつける
- その様子を広報部門が社内SNSで社員に発信

7月24日

バーチャル人事部門全体会議

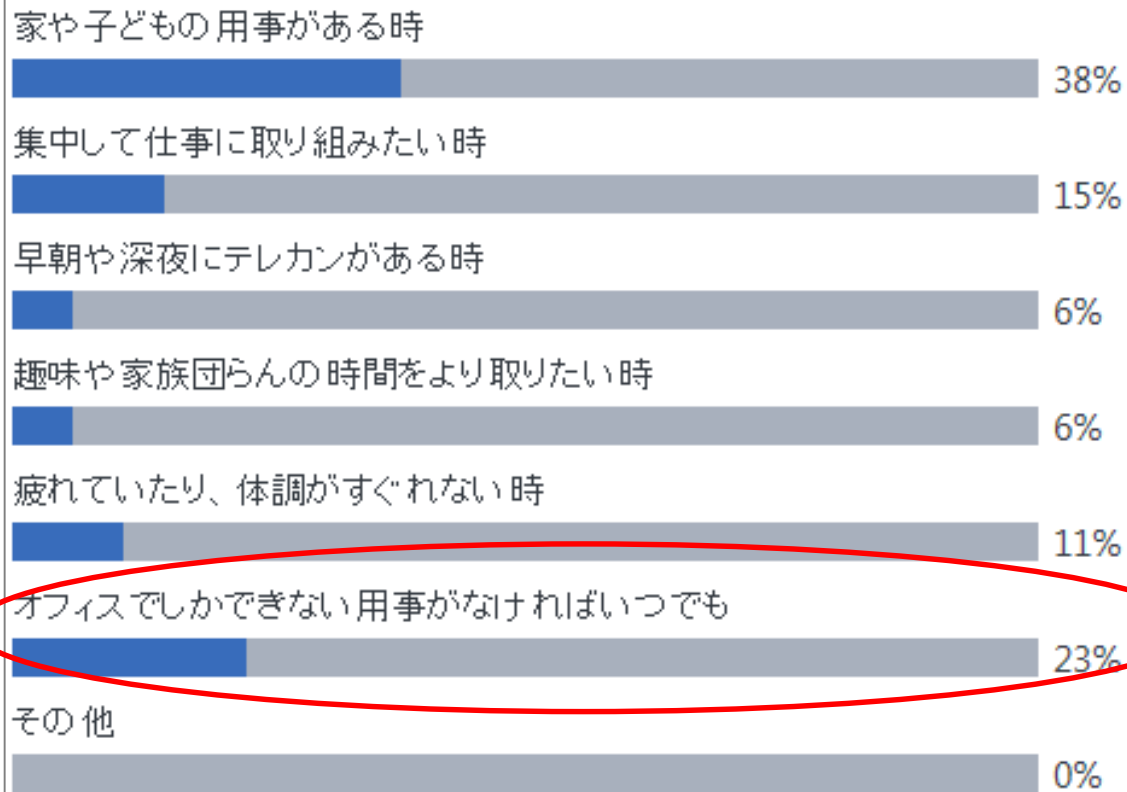


司会者も自宅から

- 約60人の社員・派遣社員・業務委託社員が、自宅等の60拠点から会議に参加
- 移動中の電車からスマートフォンで参加した社員も
- 各派遣会社には、事前に協力依頼をし、派遣社員の在宅勤務を実現
 - 雇用形態の垣根を無くすことが
チームワークや生産性向上のカギ
- 大勢の会議でもバーチャルでできることを示し、その様子を社内SNSで発信

7月を通じて 広報部門による社内SNSアンケート

質問:あなたは、どのような時に在宅勤務を活用していますか？理由として最も多いものを、一つ選んでください。「その他」に一票を入れた方は、理由をコメントで教えていただけると嬉しいです。



Yoko Ueki - July 17 at 05:00 PM

区 <ワークスタイル・イノベーション月間通信Vol.4>

ワークスタイルは人それぞれ。自分らしく最高のパフォーマンスが上げられるのなら、オフィス勤務、在宅勤務のどちらを選ぶかは個人の裁量に委ねられるものと思います。今回は、在宅勤務を活用している皆さんにおうかがいしたいと思います。あなたは、在宅勤務でどのようなメリットを感じていますか？最もそう思うものを一つ選んでください。

メリット	割合
通勤時間・移動時間が減る	48%
業務の効率が上がる	10%
生産性が上がる	3%
趣味や家族と過ごす時間が増える	21%
生活満足度が高まる	16%
その他	1%

7月を通じて、全国の社員が、 各自のテレワーク事例を自主的に社内SNSに投稿



モバイルワークの途中で仕事を中抜けし、
 子供のクラブ活動を応援に行った社員の投稿



営業のロールプレイ研修。足の骨折のため自宅から参加した社員も
 支障なく研修に参加できたという投稿



7月を通じて、全国の社員が、 各自のテレワーク事例を自主的に社内SNSに投稿

Web会議システムを使うことで、工場棟で工場着のまま会議に参加
 会議のたびに更衣と移動で30分かかっていた時間を有効活用

7/23 埼玉県の工場での
 “カジュアル・デイ”



テレワークをしにくい工場でも、自分たちらしい働き方改革を実行！

働き方改革とは？

- 何かできることはないかと探り続ける。あきらめない。
- 常識、当たり前を疑う。固定観念を打破する。

